入院診療計画書

患者氏名　　様

病名（ 左 ・ 右 変形性股関節症）

治療（手術：人工股関節置換術）

経過	入院 （手術前日まで）	手術日	手術翌日	手術後2日目	手術1週間目	亜急性期
日時	（　　/　　）	（　　/　　）	（　　/　　）	（　　/　　）	（　　/　　）	術後2～6週間
達成目標	*手術準備ができる *痛みが緩和できる	*術後の安静を保つことができる *不安なく手術を受けることができる *痛みが緩和できる	*肺塞栓・術後感染等の合併症がない *安静を保つことができる *血を抜くための管が抜ける事なく過ごせる	*血を抜くための管が抜ける *脱臼しやすい姿勢をとらずに車椅子へ移ることができる	*抜針ができる *歩行器を使用し歩行できる *退院先を決めることができる	*本人・家族が脱臼肢位について理解できる *脱臼しやすい姿勢をとらずに、移動・身の回りの動作ができる
治療 処置 薬剤 リハビリ	*入院前まで服用されていたお薬を看護師に渡して下さい *特に高血圧・糖尿病・心臓病のお薬や血をサラサラにするお薬を服用されている方はお知らせ下さい ＊術前評価を行います	*朝のお薬は看護師がお持ちします *手術衣に着替えます *手術後は持続で点滴を行います *血を抜くために傷口に管が入っており、溜った血液を戻します *脱臼しないよう足の間に枕をはさみます	*抗生剤の点滴を行います *痛みが和らぐように援助します *ベッド上でのリハビリを開始します *毎日リハビリを行います	*血を抜くための管を抜きます *管が抜けた後から中止薬を再開します *痛みが和らぐように援助します *リハビリ室でリハビリします	*抜糸します	
検査	*手術に必要な検査を行います （外来で行うこともあります）	*手術後に手術室でレントゲンと採血をします	*貧血がないか確認のため採血します		*朝から採血します *レントゲンの撮影をします	*血液検査やレントゲン撮影を適宜行います
活動 安静度	＊制限はありません	*独歩もしく車椅子で手術室に行きます	*ベッド上での安静が必要です	*車椅子へ移ることができます	＊歩行器を使用して歩きます	*必要時は杖を使用して歩きます
食事	*手術前日までは食事・水分の制限はありません	*手術前は食事・水分は指示があります *手術後1時間で水分を摂って頂きムセがない事を確認します *夕食より食事が始まります				
清潔	*入浴できます *洗面器・石鹸等の用意をして下さい	*手術前に入浴できます	*入浴できないためタオルで拭きます	*傷口を濡れない様にして入浴します	＊お風呂での動作指導を行います	*お風呂にお一人で入浴できます
排泄	*トイレで排泄できます	*手術後は尿の管が入っており、安静中はベッド上での排泄になります		*管が抜けた後からトイレで排泄できます		
教育 指導 説明	*手術の説明を致します 説明後、同意書に署名をして看護師に渡して下さい	*色々な管を触らないようにしましょう	*脱臼しやすい姿勢をとらないようにして下さい（あぐらもしくは横座り） *移動方法の指導を行います			
服薬指導	*持参されたお薬の作用、副作用について薬剤師が説明を行います。新しく薬が出た場合は、内服方法や作用・副作用について説明します					
栄養指導	*入院前の食事の事をお尋ねします	栄養管理の必要性 ： なし ・ あり				
観察	*痛みの観察をします	*管からの出血量や性状を観察します *体温・血圧等の測定をします *痛みの有無の確認をします	*傷の状態の観察を行います			
在宅復帰支援計画	（　）病状の安定を図り、安心して生活する為の支援を行います。 （　）日常生活動作が維持できるような環境設定の提案や介助方法等を家族・療養にかかわるスタッフへ指導します。 （　）					

退院後の治療計画

*退院後、再来日に来院して下さい
*お薬があれば、続けて内服して下さい
*何か症状があれば、受診して下さい

退院後の療養上の留意点

*脱臼しやすい姿勢をとらないように移動・入浴して下さい

主治医 ：　　印　　令和　　年　　月　　日

師　長 ：

担当看護師 ：　　本人または家族の承諾サイン：

【在宅復帰支援担当者】津田　黒田 【担当MSW】 4階北(中村) 5階北(粟津) 3階南(中村) 4階南(香月) 5階南(黒田)

＊注：入院期間は、現時点で予測されるものである・病名等は現時点で考えられるものであり、今後検査などを進めていくに従って変わりうるものである

熊本セントラル病院
書式番号：2107-2020